

新発売

高圧エアを吹き付け、ダストを強力吸引！ 多目的に使えるダスト除去装置

エアエレメント&DPFクリーナー 吸塵王

AD-1/AV-1

- 落としたダストを大風量で強力吸引！
微粉塵フィルターがダストを逃がさず、衛生的で快適な作業が可能
- エアエレメントもDPFも装置に置くだけのラクラクセッティング！
エアを吹き付けるだけのカンタン作業で効率アップ
- 集塵システムに接続可能な集塵機レスタイプ(AV-1)も
ラインナップ

小型車～大型
トラック・バスまで
様々な形状のエレメント・
DPFに対応

NEW
オートサービスショー
出展



新発売

排気熱を利用し燃費を向上！CO₂排出量を削減！ 排気熱利用高圧温水洗浄機

AHW-611RS

- 排気熱利用により燃費を向上し、CO₂排出量も削減。
地球温暖化防止に貢献できます
- 排気熱回収ユニットの消音効果により燃焼音を大幅に
低減。高圧ポンプもプランジャー式を採用し、優れた
静音性を発揮

燃費
約25%アップ

NEW
オートサービスショー
出展



新発売

コストパフォーマンスに優れた部品洗浄機 部品洗浄機“輝”

APW-2011A

- シンプル機能でコストを抑えつつ高い洗浄力を発揮
- モーターを使わず水圧で洗浄アーチを回転。
360度汚れをくまなく洗い流します

NEW
オートサービスショー
出展



保守点検のおすすめ

ANZEN製品を長くご利用いただくため、保守点検サービス（有料）のご利用をおすすめします。
お近くの営業マンまでお問い合わせください。

24時間サービス体制

ANZEN製品を「安心」してご利用いただくために、24時間サービス（ボイスワープ）対応をいたしております。営業時間外、および
休日におけるサービス電話受付ができます。担当の営業所の電話に連絡していただければできる限り迅速な対応をいたします。

ANZENカスタマーサービス

☎ 0120-01-6361

当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記のフリーダイヤルまでお気軽にどうぞ。
受付時間：月～金（AM9：00～PM5：00）

ANZENホームページ

<http://www.anzen.co.jp>

ホームページ“ANZEN Web”ではANZENの最新情報を提供しています。

●発行所／安全自動車株式会社 マーケティング部 東京都港区芝浦4-16-25 ●ANZEN NEWS 52号（2011年7月1日発行）

2011

Summer
VOL.52

自動車整備の最新がわかる
ANZEN NEWS



CHARGE

第32回オートサービスショー2011

たくさんのご来場誠にありがとうございました。



去る6月17日(金)～19日(日)の
3日間、東京ビッグサイトにて
実に4年ぶりとなった
「第32回オートサービスショー
2011」が開催されました。

当社は「安心・快適、たしかな整備はANZENから」をコンセプトに、お客様の「快適整備」をフルサポートする新鋭機器を多数出品。さらに、合わせて定期メンテナンスの啓蒙活動も行い、多くのお客様から反響をいただきました。
皆様より頂戴した貴重な声は、これからの商品開発に役立てるほか、より「お客様目線」に立った提案として、販売・サービス活動に反映してまいります。今後とも、
どうぞANZENブランドにご期待くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
この度はANZENブースにお立ち寄り頂き、誠にありがとうございました。



効率的な車検ラインが注目を集める



環境対応の洗浄機器が勢ぞろい



ひときわ目を引く4柱式ツインパワー



好評のレバーレスタイヤチェンジャー



HV・EVに適した新しい整備をご提案



当社ならではのメンテナンス提案

株式会社ホンダカーズ徳島 応神店エコファクトリー

いま注目!
のショップ訪問

徳島県徳島市応神町東貞方諏訪ノ市16
Tel 088-683-3780

株式会社ホンダカーズ徳島の総社員は108名、営業所は5店舗。今回お邪魔した応神店は本社機能に加え3つの整備工場を備えており、年間入庫実績は15,000台。今期(平成23年4月～平成24年3月)は目標として入庫17,500台、新車販売700台を掲げています。応神店の営業、スタッフは総勢32名。そのうち今回お話を伺った上田サービス部長と、サービススタッフ16名全員が低電圧教育を修了済みです。同店は昨年10月、新たにHV専用工場「応神店エコファクトリー」を併設。最新車両に対応する様々な工夫が凝らされている上、スタイリッシュで洗練されたデザインは整備工場とは思えません。今回は、クルマの未来を見据えたエコカー整備のバイオニア、応神店エコファクトリーを訪ねました。



代表取締役社長
河野 義晴 様



サービス部長
上田 浩史 様

デザイン性と機能性を兼ね備えたHV専用整備工場

■工場とは呼ばせない!コンセプトは“ブティック”

ホンダ系初のHV専用整備工場となる応神店エコファクトリー。同社の河野社長が、クルマの進化に合った整備工場として開設しました。エコカーにふさわしくあるため、同店は従来の整備工場のイメージを一掃。デザイナーに“ブティック”をコンセプトに設計してもらいました。白を基調にした内装とガラス張りの外観は、カフェと見紛うほど。3ピットある整備ストールも、間隔がゆったり6メートル以上あいていて、まるでショールームのようです。「ブティックですから、見せることが大切です。空間も間取りも贅沢に使えば整備中のクルマも映えますし、それをご覧になったお客様の満足度も高まります」(上田さん)。さらに、整備ピットの隣には、工場全体の3分の1におよぶ広さの屋内イベントスペースを確保。「フラダンスや生け花の教室に使いたいというオファーもきました」(上田さん)。現にこのイベントスペースでは、小学校5年生の社会授業を対象に、クルマの誕生から整備に至るまでの説明会を開催。「実車や整備を目の前で見せられるし、子供が動きまわっても十分なスペースがあるので安心です。これを機に少しでもクルマに興味を持ってもらえたらと思います」(上田さん)。「ブティック」としての機能が、地域活動にも活かされているのです。



明るく開放感あふれる整備ピット
自動車のショールームを思わせる



多目的に使える贅沢なイベントスペース
青空が描かれた天井はまさにブティックのよう

■エコカー整備にふさわしい節電設備

エコファクトリーというからには、エコカー整備工場としての“環境”へのこだわりもあります。そのシンボルとも言えるのが、工場の屋根に設置されたソーラーパネル。「工場の照明にかかる電力は、ほぼ太陽光発電で賄えます」(上田さん)。さらに、工場内は冬場でも夕方まで明るく、照明も必要に応じて個別に点灯できるようにしてあるため、最小限の電力しか使いません。「電気を扱うHV整備では、配線の色を見分けるためにも明るさが重

要です」と上田さん。明るさと節電を両立させたことが、エコ整備のポイントです。整備環境を快適に保つ排気ダクトも、各ピットに1つずつ備え付け



屋根一面に設置されたソーラーパネルは
エコファクトリーのシンボル

られており、こちらも個別に制御できます。最先端の設備、明るさにこだわったデザイン、そして何より最適化された節電設備が、エコカーにふさわしいクリーンな工場を実現しています。

■HV整備ならではの安全・安心な機能美

エコファクトリーの最新設備は、節電ではありません。洗練されたデザインの陰に、HV整備専用工場としての様々なノウハウも隠されているのです。ドアを全開にできるピット幅や、外したパネルや部品を置くテーブルは、作業しやすくミスを起こしにくい環境を実現しています。作業にあわせて導入した3機種のリフトの中でも、作業空間が広くバッテリーを降ろしやすい“アルネオリフト”は、「後々のEV整備に欠かせない設備です」(上田さん)。床面にはフローリングを採用し、さらにリフト周りの床を安全のため絶縁マットで覆いました。「HVに水は厳禁なので板張りにしました。その効果で、お客様も愛車が大切に扱われていると感じてくださるみたいです。整備士も、自然と清潔を保つよう心がけていますよ」(上田さん)。安全のための斬新なアイデアが、CS・ESともに効果を生んでいるようです。ホンダカーズ徳島の企業理念は“花一枚蝶自来”。理想的な作業環境を実現しつつ、お客様にも親しまれるエコファクトリーは、同社の魅力を満開に咲かせていくに違いありません。



ドアを全開にしても作業空間は広々
テーブルは各ピットに1つずつ完備



万が一の感電を防ぐ絶縁マット
水を使わないようフローリングにしたのも、HV整備への配慮

宇徳ロジスティクス株式会社

知りたい!
元氣なショップの秘密

神奈川県横浜市中区錦町9
Tel 045-622-1834

今回訪問したのは、国内と海外の物流を円滑につなぐ湾岸物流を中心に独自の技術とノウハウを兼ね備えた宇徳ロジスティクス株式会社。輸出入に伴うコンテナ輸送サービス事業だけでなく、車両整備事業にも力を入れています。貨物船が離発着する港湾に近い横浜・本牧埠頭に隣接し、貨物輸送用車両をはじめ、民間車検指定工場として近隣の輸送事業車の安全を支えています。同社の社員数は90名で、うち自動車整備部は30名(営業3名、整備士17名、塗装・板金10名)。同工場の年間入庫実績(2010年4月～2011年3月)は車検1800台、一般修理2400台、板金・塗装240台でした。物流システムのトータルプランナーとして自社でも400台のトレーラを保有し、売上倍増10年間計画を目指す同社の新設整備工場をご紹介します。



自動車整備部 工場長
高橋 文明 様

長年培った信頼の技術力と高効率な最新設備

■入庫促進として車両の引き取りサービスを実施

整備の主となるのは国際海上コンテナセミトレーラー。広々とした敷地内にはトレーラやトラクターヘッドなどが整然と並んでいます。総入庫車両のうち、自社グループの車両が占める割合は全体の約3割です。約7割は一般のお客様の車両とのことで、同社の入庫促進について高橋工場長にお話を伺いました。「当社では、入庫促進としてお客様の車両の引き取りサービスを行っています。トラクターヘッドは2台常備。要望があればすぐに引き取りに伺い、トレーラを連結して工場まで運び、完成したらお届けに伺う。お客様の要望にフレキシブルに対応できる体制を整えています」(高橋工場長)。

そして、長年培った信頼の技術力も強みの一つ。トレーラは経年劣化してくると微妙にフレームがねじれ、溶接部分が剥離・変形し、足回りも疲弊してきます。修理の際はこれらを解決するために板金・溶接・塗装などの技術力が重視されます。当社には熟練したメカニックが多数在籍。その技術力は大型ディーラーやトレーラメーカー各社からの評価も高く、指定工場として厚い信頼が寄せられています。



板金・溶接・塗装・架装など
幅広いニーズに対応

■メカニックの作業負担軽減を重視し、効率化機器を導入

今回同社では、既存の整備工場の老朽化に伴い、地震対策を施し、最新の機器を導入した整備工場を2011年3月に新設しました。工場は5ストール+車検ライン。板金・溶接・塗装・架装など幅広いニーズに対応できる設備を確保し、車検や一般整備用に3柱式の“ツインパワーリフト”と“2分割フロアリフト”を導入しています。新設工場に導入した機器の使用状況について高橋工場長に伺いました。「ツインパワーリフト”について、「車検対応の作業で使用しています



“ツインパワーリフト”を導入したことで
足回り整備も効率化

が、メカニックはとても楽な作業姿勢で行っています。今までガレージジャッキで隙間をつくり、リジッドラックをかませて、そこに寝板で滑り込んで作業していたので、劇的にラクになりました！3柱タイプを選択したのは3軸車が主流になってきたからです」。

“2分割フロアリフト”について、「クラッチのオーバーホール、オイル漏れ・エア漏れ点検時に使用しています。車両の下回り整備時も力の入れやすい体勢をとれるのが良いと思います。2分割タイプはメカニックが身長に合わせてベストポジションで作業ができ、2人が異なる作業をするにしても利便性が高いですね。メカニックに優しいシステムだと思います」。

車検ラインについては、「とにかくトラクターヘッドにしても車体が大きいですから、従来、検査業務は2人がかりでした。現在は、リモコン操作で測定できることから、1人で作業を完結できる点が作業効率・時間短縮に大きく寄与していると思います」(高橋工場長)。



車両の下回り整備や点検が
安全・かつ効率的にできる“2分割フロアリフト”

■高効率化を生産性の高さに実証していく

新工場に導入したすべての機器が高効率化・時間短縮化に貢献しているとお褒めの言葉をいただきましたが、高橋工場長は「その分、入庫増大を目指し、新鋭機器を活かした生産性の高い仕事をしなければならないと考えています。今後も入庫促進にますます力を入れていき、営業・メカニックが一丸となってサービス売上を底上げしていきたいと思います」とも、お話をされています。一般整備から車検、そして板金関連までトータルなサポート体制を完備している同社。いずれは24時間営業も視野に入れているとのことで、絶好のロケーションと確かな技術力を持って、今後さらなる飛躍に期待がかけられます。



車体の大きい車両の車検整備もスムーズ！